
今日の力

2024年10月14日 ~ 10月20日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳者・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

10月14日(月)

名のうちにあるもの

聖書朗読 箴言 22:1~4

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。

それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものすべてが、ひざをかかめ、
ピリピ 2:9~10

私のミドルネームはメモリーです。これは父方、母方双方の祖父にちなんで付けられたものです。父方の祖父はアーネスト・メモリー・ピーターソン。なぜこのようなミドルネームが付けられたのか分かりません。私は、最近の自分の“メモリー”（編注：記憶力）には挫けますが、本当は良い“メモリー”があるんですと良く言っています。私は自分がどこからこの地上にやってきたか、それを誇りに思います。それはお金持ちになることよりずっと嬉しいことです。

与えられた自分の名は素晴らしいと思いますが、私たちすべてがその御前に
^{ひざまず} 跪き、褒め称えるべきお方、イエス様の御名とは比べ物になりません。その御名ほど良い名はありません。まことに偉大です。イエス様の御名を呼ぶとき、私たちは父と御子とともにいることができ、またご聖霊によって讚美と礼拝へと導かれます。

神様、イエス様、そして、聖霊様。この御名によって私たちは日々主を称えることが出来、またこの御名を呼ぶとき、主が、私たちも神の子、神に愛された者として名を呼んでくださることを感謝し主を褒め称えます。

私はこの世ではメモリーという名に過ぎませんが、主はもっと良い名で私を呼んでくださいます。

讚美歌 162 あまつみつかいよ

祈り 親愛なる主よ。あなた様の御名をほめ称えます。そして、あなた様が呼んでくださる名をもって祝福してくださることを感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ルボック / ジェス・ピーターソン

10月15日(火)

神の支配のもとに生きる

聖書朗読 イザヤ書 9:1~7

そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。 テモテ I 2:1~2

米国内では今年選挙の年であり、また、紛争が世界各地で起こっています。そのような中であって、皆、将来に不安を覚えていることでしょう。私たちは主に従う者として、この先何が起こるだろうかと憂慮し、周りの人々や多くの国々に福音を分かち合う良い機会がないだろうかと考えるでしょう。

信仰的な視点で振り返って見ると、こうした混乱の時代は今に始まったことではなく、見方を変えれば、このような過渡期や変化の時は、実は私たちが信仰を改めて意識する機会となるものです。むしろ、成功を収め心地よい環境にあることが、かえって福音を宣べ伝える際の大きな妨げとなることも私たちは知っています。

この世の価値観や慣習などに押し潰されることなく、私たちのキリストへのコミットメント(献身)は変わらないものでなくてはなりません。私たちが祈りによって神に願い求め、神を褒め称える生き方は、神が常に私たちとともにおられることを証しするものです。

誰がこの世を支配しようとも、主が私たちの信仰によって、私たちの心を治めてくださることを嬉しく思います。

讃美歌 191 いともとうとき

祈り 親愛なる主よ。何が起ころうとも、あなたがこの世で働いておられるということをお示しください。私たちの忠実な祈りと身を捧げる行いが、良い影響を与えるものとなりますように。アーメン。

テネシー州 グリーンフィールド / ウィル・ノリド

10月16日(水)

全き平安

聖書朗読 イザヤ書 26:1~4

また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たものではありません。 マタイ 24:6

『全き平安』イザヤは何を思いながらこう言ったのでしょうか。これは決して手にすることの出来ないものです。何世紀も経った今の私たちにとってもそうでしょう。イスラエルとパレスチナ、ロシアとウクライナの紛争や戦争、イラン、北朝鮮、中国、そして米国を見てもそうです。暴動が各地で起こり、あちらこちらで憎悪の感情が^{あら}露わにされています。こうした争いや戦争の噂は、この世の暗い兆しでしょう。

けれども、イザヤの言う『全き平安』のうちにあなたも憩うことができます。全き平安は、神に信頼する揺るがない姿勢、そしてキリストの心を持つことにあります。(ピリピ 2:5) このような姿勢には、奉仕、謙遜、そして、犠牲があります。

どこにいようと、どのような状況であろうと、私たちはキリスト・イエスにある全き平安を見出すことが出来るのです。そう、この罪の暗闇の世にあってもです。平安は、誰が大統領であるか、誰が強力な軍隊を保持しているかなどと関係ありません。私たちの心と思いにあるのです。もし私たちが全き平安を見出すことが出来たら、自分の伴侶や子供たち、近隣の人たち、私たちの町、そしてこの世界も平安を見出すことが出来るでしょう。

讃美歌 295 やすしや罪の世にも

祈り 主よ、私に全き平安を与えてください。あなた様の内にそれを見出させてください。最も近くにいる人々とそれを分かち合わせてください。全き平安への道を示してくださり感謝します。平和の君なるイエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ルボック / ジェス・ピーターソン

10月17日(木)

臆病な預言者

聖書朗読 エレミヤ書 26:1~24

このとおり、私はあなたがたの手の中にあります。私をあなたがたがよいと思うよう、正しいと思うようにしなさい。
エレミヤ 26:14

オズの魔法使いの臆病なライオンは、皆さんもご存知かもしれませんが、臆病な預言者は知っていますか。彼の名はウリヤ。シエマヤの子で、同時代のエレミヤと同じようにイスラエルに対する神のこぼを預言した人です。しかし両者には違いがありました。ウリヤは自分のいのちを救おうとして自らのいのちを落としましたが、エレミヤは恐れることなく自らのいのちを敵に差し出しましたが、神が彼を救って下さったのです。

神はパラドックス(逆説)を好んで用いられるようです。『いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。』(編注:マタイ 16:25)ここでのひとつの教訓は、恐れず大胆であることには真理が伴うということだと思えます。大胆さを欠くことで神への信仰が揺らぎ、神のみことばの真理に対する私たちの信頼も揺らぎます。

私たちが人々にその行いとわざを改めるよう促すとき(13節)、たとえ彼らの怒りを買っても、彼らに面と向かい率直にそれを伝えるべきです。そうすることで、私たちも真の預言者たちのお手本に倣うこととなります。

エレミヤは自らを捧げる者でしたが、ウリヤはそうではありませんでした。イエス様は御顔を真っすぐにエルサレムに向けて行かれ、ご自身のいのちを敵の手に渡され、彼らの手によって死なれました。そして恐れずに生き、偉大な犠牲を払って下さいました。誰か倣いたいと思う人を探していますか。イエス様と、自らのいのちを捧げて神に従った人たちをお手本として倣ってください。

讚美歌 235 主のみたまよ

祈り 私たちの君なる神様、私たちの生き方を改めて、それによって他の人も自らを改めるよう導くことが出来るようにしてください。あなた様の御子イエス様のように、あなた様のために大胆に語る者としてください。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

テキサス州 ヒューストン / ジョン・ウィリアムズ

10月18日(金)

神に愛された者

聖書朗読 エゼキエル書 39:21~29

私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の子どもです——御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょうか。

ヨハネ I 3:1

真の愛を示す人たちを思い浮かべてみてください。恐れることは何もない若いカップル、自分の時間を捧げて近所の子どもたちの世話をする高齢の女性、高齢者施設で互いを支え合おうとする高齢のご夫婦。神の愛によって私たちの心が変われると、それは他の人も気付くものです。

神様はエゼキエルを通して、後に神のご慈愛と赦しを人々に与えられ、その御顔を隠すことはなく、神のご聖霊が豊かに人々に降り注がれることを約束されました。

神が私たちの心に豊かに注がれるご聖霊は強力な力となります。ご聖霊が私たちのうちに働かれて、私たちがそれに応えて親切、慈しみ、愛、そして、恵みを示す者となる時、周囲の人たちは私たちの生き方を知り、そして私たちの善なる行いが神によるものだと気づかされることでしょうか。

イエス様によって、私たちの心も、イエス様に似た者へと変えて頂きましょう。一新された心をまず示す場所は、愛する者とともにある家庭にあります。そしていずれ、あなたの神への思いは、あなたの住んでいる地域の人々へと広がり、彼らも神の善なることを見るでしょう。神のご聖霊をあなたの歩みの中で目に見える形で示していきましょう。

讚美歌 339 君なるイエスよ

祈り 親愛なるお父様。あなた様が私たちひとりひとりを内側から変えて、あなた様の栄光の器としてくださることをお示し下さり感謝します。イエス様の御名によって。アーメン。

コロラド州 モニュメント / アン K・ヤング

10月19日(土)

逆境の中での喜び

聖書朗読 ハバクク書 3:8~19

見よ。神が私を殺しても、私は神を待ち望み、なおも私の道を神の前に主張しよう。
ヨブ 13:15

預言者ハバククが生きた時代は決して喜ばしいものではなく、その民にとって良い兆候などしばらく見通せないような状況の中にありました。けれども彼はその暗い現実から身を隠そうとはせず、むしろ、この世の悪と苦しみをよく理解し、それを用いて力強い歌を作りました。

その歌の中で、彼は神の力を称え、彼の敵を討ち滅ぼすことを神に嘆願し、揺るぎない信仰を表わします。彼は征服者たちのもたらした荒廃や甚大な被害をもたらす自然災害について語っていますが、状況がいかにひどくても、彼は『主にあつて喜』ぼうと強調して述べています。私たちがハバククの置かれた状況にあつたら、彼のように恐れず独創的な発想をもち、主に信頼を置く姿勢で、その状況と向き合うことができるでしょうか。

ハバククの歌は、私たちの時代の信仰ある人々によって私たちのうちに響くでしょう。私たちはしばしば恵みと思える神の人たちに出会いますが、彼らが恵みであるというのは、彼らはどんなに落胆し、あるいは、どれほどの身体的な苦痛を覚えていても、喜びに溢れて生きているからです。そうした人たちは私たちに生き方を教え、彼らとともに喜ぶことを私たちに促してくれます。彼らの喜びの源は、預言者ハバククと同じように、救い主を見出し、救い主への信頼から離れずにいることです。主にあつて喜びましょう。

讚美歌 327 あだはかこむとも

祈り 私たちの神様、私たちの歩みにおいて、私たちを奮い立たせてくれる人々を感謝します。今日からいのちの終わりまであなた様に信頼することで喜びを覚えさせてください。私たちのお手本であるイエス様によって。アーメン。

コロラド州 デンバー / キャロライン・ハンター

10月20日(日)

喜びと恵み

聖書朗読 マタイの福音書 5:1~12

愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、
コリント I 13:4~5

「元気ですか。」と尋ねると、「恵まれています。」と答える方がいます。今日の聖書箇所、イエス様はこうした姿勢によって恵まれると言われましたが何を意図しておられたのでしょうか。“恵まれる”ということばは“喜ばしい”ということばに置き換えることができるでしょう。さらにこの語の語源を調べると、“恵まれる”ということばは神のご契約に与る素晴らしい幸運とあります。どれほど人が羨むものなのでしょうか。

心の貧しい人とはどのような人のことでしょうか。それは、自分がつまらない人間で何も出来ない者であることを認めている人のことです。こうした人たちは神の前に全くへりくだり、神のみことばをそのまま自分たちの歩みに取り入れます。私たちは、心の貧しい者となる時、たとえ迫害や困難に遭遇しても、神に心から信頼し、神に恵まれた子として生きるものです。

神は今日も私たちとともにおられることを約束しておられます。私たちが永遠に神と共に生きることを約束しておられます。このために、私たちは、たとえ困難な人生であっても、究極の喜びと恵みに満たされるのです。

讚美歌 389 あだを愛せよとの

祈り 親愛なる主よ、心貧しく、柔和であり、義に飢え渴き、憐み深く、心清く、そして、平和をつくる者となることを教えてください。あなた様に恵まれた子として生きることができるようになってください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アーカンソー州 ファイエットヴィル / Lスコット・ゲージ